

不倫上手の
人妻さん♡

ニシカタさんトコの奥さんは
他人ちのぽに
無我夢中♡♡

好きになっちゃった♡

いめんねあなた♡
わたしこのむよ...

「ただいま」

「おかえりなさい
あなた」

「あらっ？
お客さま？」

「うん、後輩」

「近くまで一緒でね
飯でも、つて
誘ったんだ」

「お邪魔します
奥さん」

「急にすみません」

あれ、どうしたんだろ？
声の上擦って、様子がおかしい？
風邪ひいたのかな？

「う…
うん、大丈夫かな…」

「うん、
大丈夫かな…」

「うん、
大丈夫かな…」

「？、大丈夫？」

「あ、うん
平気、うん」

心配したけど体調は良さそうだ
初対面で緊張したのかな？

「え、うそ？」

それにしても短時間で
ずいぶん仲良くなったな

「サンバシホちゃん」

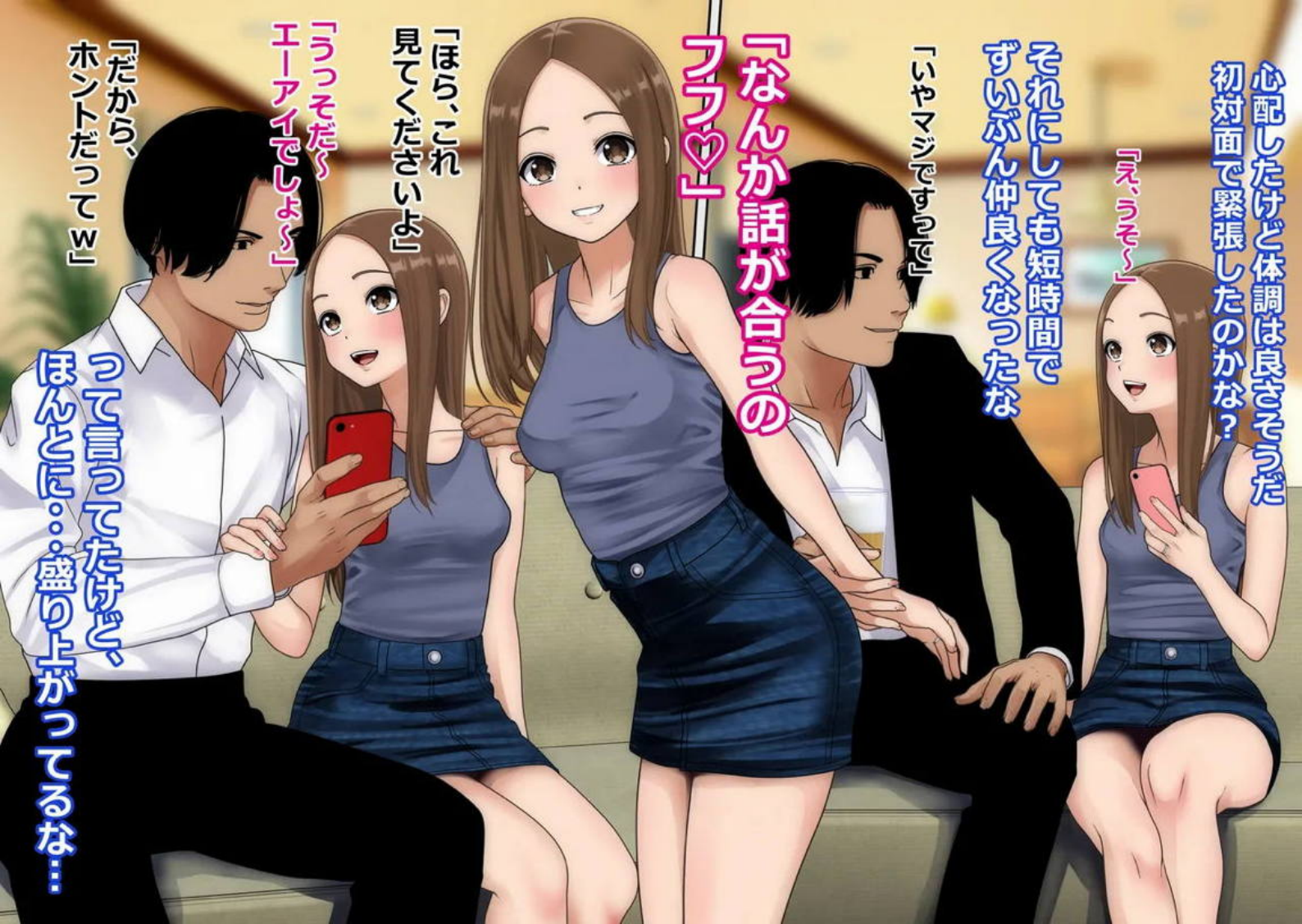
「なんか話が合うの
フフ♡」

「ほら、これ
見てくださいよ」

「うっそだよ
エアアイでしょ？」

「だから、
ホントだってw」

って言うってだけで、
ほんとは…盛り上がりつつあるな…



「あがったよ〜」

「あ、うん」

「またライン？」

「うん」

「そっか…」

「あ、明日からの出張を」

「え、うんうん」

あの日から毎日

彼とラインしてゐるけど…

随分気が合うんだな

まあ、出張で寂しい思いをさせるから話し相手がいてちゅわどいいかも

「ふふ♡」

おれもまめに連絡入れよう、うん

< 彼くん♡

旦那さま
明日から出張♡

知ってたw

来る？

ん？

うち、来る？

イクw

「さん、さん」

「おじやまじまじすw」

「お、お、お」

彼のこと、呼んじやった
あのひとに内緒で
あのひとのいない家に



「さ、上がって？
ねっ？」

「ちよ、待って
待ってw」

だって…「目惚れ？
こんなこと初めて…♡」

「奥さんっ！」

あんっ、もうっ、入ってすぐ？
…誘つてたのバレちゃったかな？
わたしったら、こんな薄着で、フラ



「あんっ♡」

「わ、わ、わ」

「わ、わ、わ」

会ったとき、きゅんきゅんしたの♡
こころも…おなかの奥も…♡

だから、ずっと期待してた
ごうなるんよ…♡

「奥さん、ほんまに♡
うさ♡」

「うん」

ドキ

「先輩、
裏切っちゃうよ…」

「…うん♡」

ドキドキ

ああ、脱がされて…
見られてるっ、裸っ♡

「俺、止まんないよっ」

「ん」

「めしちゃうさ
「めしちゃうさ
「めしちゃうさ

「…♡！っ♡っ♡」

ドキ

めめ…

あなた…ごめんね♡

「ぶり」

「だいが遅くなっちゃったな」

「あ、もしもし?」

「んん」

「あ、あなたあ」

「んっあれ、どっしたの息荒いけどっ」

「あ、うん、あっ
い、い、ま、ち、よ、い、と、ん、っ」

「あ、かけなおす?」

「わ、わかった、
じゃ、また...」

寂しがってるだろっな...

旦那さま♡



「んっ♡」

ちゅっ♡

れっ♡

ちゅっ♡

「むっ♡」



ちゅっ♡



ちゅっ♡

ちゅっ♡

「んっ♡」

ちゅっ♡



ちゅっ♡

ちゅっ♡

「ずっと聴いてるよっ♡」

「うん♡」

「先輩でしょ?」

「うん♡」

「出たらっ?」

ちゅっ♡

「んっ♡」

ちゅっ♡



『もしもし?』

『よかったあ』

「あー..
やっと出たー!」

「心配したよ
ずっとかけてるFD
全然出ないから」

「ごめんね、あなた♡」

わたし今...

あなたの声を聞きながら
他の男のひとに抱かれてる♡♡

「なんかあった?
大丈夫?」

「ううん
なんでもないの!」

『でも、なんか
息が荒いし!』

「え、そう?
うん...んっ♡」

何度も何度も
繋がちやつたの♡



『そっかあ……』

アッ
……♡♡

アッ
アッ

♡♡

ビクッ

ビクッ

ビクッ

『でもさ、
ひとりじゃ大変だよ?』

おふん

おふん

『帰ったら一緒にやる?
だから……ん?あれ?もしもし?』



『もしもし?』

おふん♡♡♡

『あれ、また始めちゃった?』

『そんな大声で

気合入れなくても』

ばちゅん♡♡

おふん♡♡♡

『帰ったら手伝うってば
ね、あれ、聞いてる?』

ばちゅん♡♡

んあ♡♡♡

んあ♡♡♡

んあ♡♡♡

『もしもし?もしもし?』



「んっ」
「帰っちゃうのぉっ」

「すま〜」

「すま〜」

「さすがに」
「少しは寝とがんと」

「はいねみじさ♡」

「さや、明日もSEX♡」
「帰っちゃうのぉっ」

「さやっ♡」

「んっ♡♡」

「陰部擦りつけんなW」
「スーツ汚れる」

「わっ」
「もっ」

「いじわるっ♡」

「すごかったあ…♡」

「彼くんに比べたらあの人のセックスはお遊戯W」

「うた〜」

「しゃあねえな」

「これ射精したの」
「帰るからな」

「ズマッ♡」

「あっ」

「ああっ♡」

「んっ」

「んあっ♡」

「もう、離れられならぬっ♡」
「ズマッ♡」

「ばっ♡」

「ぶぶ、廊下…♡」

「んっ♡」

「おおっ♡」

「ばっ♡」

「わたしの液で」
「びしょびしょっ♡」

なんか…
最近、様子がおかしい…

「あなた
いつてくるね♡?」

どす。

「ちよつと
遅くなる…かも?」

どす。

出かけることが多くなつた
以前はほとんどなかつたのに
今は週一だったり週二だったり

そして帰ってくれば必ず
衣服が乱れて、体が火照って、息が荒くて、呂律も怪しい

「た、ただいまあ…♡♡」

どす。

たす。

たす。

どす。

なんだろう…あんまり詳しく聞くのも
気が引けて…でも、まさか、まさかなあ…



疑うわけではないけど...
いや、ほんとと全然疑ってないよっ?

「ふんふん♪」

「ア~~~~!!」

でも...
やっぱり寂しなる...

今なる...



スマホを...

「♪」



まさか...

はは、まさかな...

まさかが...

「びび」

きた...

「びび」





- めっちゃ乱れてたじゃんw
- だってえ
すごかった...♡
- 満足した?
- ...
もうシたい♡
- どんだけw
先輩にしてもらえよw
- きみがいいの♡
きみのじゃなきやっ♡
- 今週もう2回も会ってんぞ
さすがにやべえだろ
- 大丈夫
あのひと鈍いしw
- じゃ、あれ言え
- きみのおちんぼお
わたしのおま〇こでバックバク~♡
- バカだコイツww

だめだ...

『どう？先輩のと較べて？』

『ぶぶぶおっきん♡♡』

『俺のちんぽのほつが好き？』

『大好き♡♡』

『ちゃんと聞いて？』

『彼くんのでかでおちんぽ
だいぢゅまい♡♡』

『じゃ、ぼろすりしてよ』

『あゝ、貧乳じゃ無理かWメンゴW』

『あゝばかにしてえ』

『ちゃんとできるおっぱい♡』

『んんんんんんんんんんんん』

『あ…』

『むがつくっ』

『なんか…いめんW』

『絶対イかせてやるっ！』

じゃれ合って軽口をたたきあうふたり
絵に描いたような恋人同士のいちやいちゃ...

「はやくイってほらあ♡
おちんぽおお♡」

ぢゅぽ♡

ピロロ...

「精子くん
ぴゅっぴゅっ♡」

こんな媚びた顔、おれは見たことがない...
こんな卑猥な言葉、官能的な声...聞いたこともない



ぢゅぽ♡

ぢゅぽ♡
ぢゅぽ♡

いけぽ♡

うそだ...信じられない...

中学のころから知っていたのになぜいっしょにいっしょに合ってきたのにな...

『ぶはめ♡』

『いえっ♡』

『又いちゃいましたっ！
わたしの勝ちっ♡』

『口でむりやり抜いたんじゃねえか
最後貧乳使ってなかったぞW』

『負け惜しみっW』

『くっせW』

『いっしょに言わせたるっW』

『ああんっ♡』



あッ！

ムニッ

おッ！
おッ！

おッ！
おッ！
おッ！

ムニッ

ムニッ
ムニッ
ムニッ

ムニッ

おれに隠れてシなければ…
続けて、いらよ…



だから…

ムニッ

ムニッ

約束してくれないかな…？

ムニッ

ムニッ